

家庭学習の手引き(6年生)

◎ 中学校に向けて、自分で計画的に学習する力をつけていきましょう。

◎ 「10分×学年数+10分」の「1時間以上」が家庭学習の目安です。

昨年度までの生活習慣チェックシートの記録から、子どもたちの中には「だらだらしたら、ちょうど目標時間になる。」と、取り間違えている子がいました。家庭学習の様子を保護者の方に書いていただくと、「テレビを見ながらやっています。」「しょっちゅう休憩しています。」「だらだらして、雑な字で書いています。」という姿が報告されているのも事実です。大切なのは時間の長さだけではないということは、子どもたちとも確認していきます。

◎ 宿題や復習だけでなく、予習にも取り組みましょう。

6年生では、毎日の宿題に加え、さまざまな「自主学習」に取り組んでいけるようにしましょう。テスト前などには、見通しを持って学習したことを振り返ることも大切です。計画的に根気よく家庭学習を進める力は、やがて中学生になるみなさんにとって大切な力となっていきます。

※あくまで宿題は家庭学習の一部です。

◎ 「学び」の幅を広げて捉えていきましょう。

家庭には、学校ではなかなかじっくりできない「学び」に取り組めることがあります。例えば、家の衣食住（洗濯物を干す、料理をする、網戸の掃除をする など）に関することがあります。そういった経験は、人生を豊かにすることにもつながると思います。「お手伝い」ではなく、「学び」として捉え、家庭学習の一つにしてみてもいいでしょう。

1. 家庭学習の前にはすること

- (1) 学校でもらってきたプリントを出す。
- (2) 学習の準備をする。
 - ・ テレビを消す ・ 机の上を整える ・ 音楽を消す
 - ・ スマートフォンやゲームの電源を切る ・ 鉛筆を削る



2. 家庭学習に取り組む

宿題

- (1) 国語（漢字など）の学習
 - (2) 算数（計算など）の学習
- } ドリルやノート、プリントなどを使います。
【その他】音読、作文、教科書を読むなど

自主学習

家庭学習を宿題だけで終わらせるのではなく、「自主学習」にも取り組みます。各教科の予習をして授業理解に活かしたり、復習をして学習内容を定着させたりすると良いです。

【自主学習の例】

視写、読書、日記、感想文、社会や理科の調べ学習、意味調べ、縄跳び、地図を見て覚える、資料集を見る、社会の表を作る、人物調べをする、教科書を音読する、漢字ドリルを音読する、自分で実験を試してみる

3. 家庭学習が終わってからすること

明日の予定を合わせる、持ち物の準備をするなど、自分の責任で確実にしましょう。

宿題に関する保々小学校の共通理解



保々小学校では、学力の定着と向上をめざすために、授業の充実と家庭学習の定着が学びを進める車の両輪となると捉えています。学校では教職員の校内研修の充実を図り、家庭には土日も含めた家庭学習の取り組みをお願いすることにしました。また、家庭学習については、各学期に1週間程度「家庭学習振り返り週間」を設け、保護者の方にも家庭学習に関心を持っていただき、お子様の頑張りを応援いただくようお願いしてきました。その結果、学年の目標時間はもとより、その内容を工夫するお子様が年々増えてきました。また、土日の家庭学習の充実を図るため、自主学習の取り組みを学級だよりなどで紹介するようにもしてきました。

家庭学習の取り組みは一年一年の積み重ねと捉えています。そのため、職員間で以下のことを共通理解と確かめ、裏面に各学年の家庭学習の手引きを掲載することにしました。各家庭のご協力を、お子様のためによりしく願います。

【宿題とは何か、何のために出すのか】

- ・宿題は『家庭学習の一部』と捉える。その日に学んだことの復習を基本の内容とします。
- ・学年が進むにつれ、量より質を大事にできる子を育てることをねらいとします。
- ・学ぶことは楽しい、わかることは楽しいということが小学校期にわかる子を育てていきたいと思えます。
- ・毎日の積み上げで、力をつけることができるようにします。

【宿題の内容と出し方】

- ・内容としては、漢字と算数は毎日の宿題に入っているようにします。
- ・量は、全員ができる量とこれだけはやって欲しい量を考えて出します。
- ・個別に内容や量を調整することはあります。
- ・時間の目安については引き続き「10分×学年数+10分」とします。(中学校1年生の段階で1時間以上集中して学習ができることが求められることから)
- ・目標時間に達しない子は、その時間を自主学習などに充てます。

【宿題をしてこなかった子への対応】

- ・「わからなかったからできなかった」という子もいます。忘れてきた理由を本人と確かめます。
- ・その理由によっては、学校で休み時間を使ってやらせることもあります。少なくとも、やらなくても・出さなくても「よし」とはしません。

【自主学習について気をつけたいこと】

- ・内容は、宿題や授業内容に関連したことを、話し合っ進めます。
- ・「自主学習とは、学力に結び付く内容である」ことを共通理解とし、例えば「文を書く力をつけたい」「まとめる力をつけたい」「わかりやすくまとめる、表す力をつけたい」など、「何のためにそれを自主学習としたのか」を子どもたちが意識できるようにします。
- ・自分で工夫しながら自主学習に取り組める子をめざして、発達段階に応じた形態をとるようにします。